

つくほ治療院新聞

通巻41号

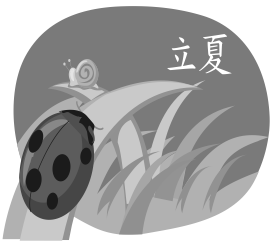
お陰様で、六周年。

「お陰様で無事六周年を迎える事が出来ました。これも御来院いただく患者さんと脈診のお陰と感謝しております。紙面をおかりして御礼申し上げます。今後も患者さんの健康のお役に立てるよう脈診を始め技術研鑽に励みたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。脈を診ていると患者さんから「脈で何が分かるのですか？」と聞かれるのですが、一言で言いますと「全てが分かる」と言っても、現代医学では、早さと血圧くらいしか診ませんが、東洋医学では、早い遅いだけではなく、浮いてる沈んでる、硬い軟らかい、渋ってる滑らかな…と色々診ています。詳しくは今月号から裏面で脈診を話していきますので読んでみてください。そして何より脈診が素晴らしいのは、脈診によって体の変化を把握できる点です。受ける側からすれば、沢山やつてもらって早く良くなりたいたいのですが「身体は良い変化をしているから今日はここで止めておこう」と、やり過ぎを防いでくれます。それは、その人が一回の治療で受けられる刺激の量が決まっていたり、同じ人でも体調によって変化するからです。また、治療する毎にどんどん良くなるのが理想的ですが、全てがそう上手くはいきません。しかし症状が変わらなくても、体は良い方向に向っている事を脈診によって把握する事が可能になります。脈診はその方にとってオーダーメイド治療を可能にする素晴らしいツールとなるわけです。

立夏

(りっか)

この日から立秋の前日までが夏の季節です。立夏とは、夏の気配が感じられ始めるという意味で、若葉の新緑が野山を彩る美しい季節です。ゴールデンウィークの頃で、心地良い風が吹き、気分が晴れ晴れする季節です。



脈診を話していきますので読んでみてください。そして何より脈診が素晴らしいのは、脈診によって体の変化を把握できる点です。受ける側からすれば、沢山やつてもらって早く良くなりたいたいのですが「身体は良い変化をしているから今日はここで止めておこう」と、やり過ぎを防いでくれます。それは、その人が一回の治療で受けられる刺激の量が決まっていたり、同じ人でも体調によって変化するからです。また、治療する毎にどんどん良くなるのが理想的ですが、全てがそう上手くはいきません。しかし症状が変わらなくても、体は良い方向に向っている事を脈診によって把握する事が可能になります。脈診はその方にとってオーダーメイド治療を可能にする素晴らしいツールとなるわけです。

『どの子もやる気を持っている』

子供は誰でも、その子なりに意欲・やる気を持って生まれてきたのです。『その子なりに』というのは、本来、性格的に活発な子供もいれば、静かでおとなしい子、のんびり、おっとりした子もいるという事です。静かな子、のんびりした子は、性格的なものであって、やる気がある、ないには関係ありません。ただ、外から見て、やる気が目立ちにくいという事にすぎません。静かな子やのんびりした子を「やる気のない子」「グズでダメな子」と否定的に見る見方を改めたいものです。「本来、どの子もやる気を持っている」事を信じて、一人ひとりの性格・個性までを思いやり、受け入れる態度を持つ事が肝要なのではないでしょうか。



「一日一話」より

陽陵泉

(ようりょうせん)

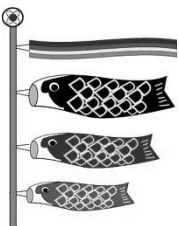
陽陵泉は陰陵泉と相対し、冷えや、体の中や内側である陰の病には陰陵泉を用い、熱や腫れ、体の外側などの陽の病に陽陵泉を用います。場所は、外くるぶしから膝に向って真上に撫で上げていくと、膝の下に丸い骨の隆起に触れます。そのすぐ下に取ります。別名『筋会』穴と言われ、筋肉の症状で、足がうまく動かせない、筋肉が引きつったりした時に用います。



5月の定休日

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



『良性発作性頭位めまい症』

めまいの原因が、耳という印象は少ないかもしれませんが、めまいを起す原因のうち3分の2は耳の病気と言われています。耳には、皆さんも御存知の通り、音を聞く働きの『聴覚』があります。その他に、体のバランスを保つ『平衡感覚器』としての働きがあります。ですから、めまいと一緒に耳鳴りや難聴と言った聴覚の症状を起す場合があります。しかし、聴覚の症状を伴わずに突然激しいめまいを起す病気の一つに『良性発作性頭位めまい症』があります。

症状の特徴として、頭を動かした時に回転性のめまいが起ります。数秒から数分と一回の症状は比較的短い時間で治まりますが、同じ姿勢を取る度に症状が繰り返されます。

良性発作性頭位めまい症は、耳の三

半規管の中にある耳石が、頭を動かすことによつて浮遊して刺激され、実際は回転していないのに、三半規管の中だけは回転していると誤った認知をし、めまいを感じさせます。

めまいを起す原因として、生活習慣が深く関わっています。日常であまり頭を動かさない生活をしていると発症し易くなるので、普段から適度な運動を心がけ、頭をよく動かす事が良いとされています。

発症してしまった場合は、症状を軽くするための薬物療養や自らで行う運動療法、患者さんの眼の動き(眼振)を確認しながら医師が頭を動かす、耳石を排出させる浮遊耳石置換法を行っていきます。



院長の独り言

女子サッカー日本代表が今年の三月に参加したアルガルベ杯で、エースでキャプテンの澤穂希選手がめまいのため欠場した事で、有名になったこの『良性発作性頭位めまい症』。文字通り、悪い物でもないですし、頭を動かさなければめまいも出ないものですし、一ヶ月くらいで自然と治まってくる場合がほとんどです。右記にもある通り、めまいの多くは耳の疾患ですが、今までに経験した事の無いめまいや、めまいの前後に頭痛・手足の痺れ・意識障害が伴う場合は、脳に障害が起っている可能性が大きいので、まずは医師を受診しましょう。

《連載》東洋医学講座

切診(脈診)

現在の鍼灸師の中に、脈診を取り入れている人がどれだけいると思いますか？おそらく1割から2割といったところではないでしょうか。

では何故、脈診を必要としない鍼灸院が多く存在するのでしょうか？私が思うには、多くの鍼灸院の治療が腰痛・肩凝りなどの『痛み止め』の治療になってしまった結果だと思えます。卵が先か鶏が先か分かりませんが、痛み止め以外を求め患者は医者に行き、『痛み止め』を求めめる患者だけが鍼灸院を訪れるようになってしまいました。

しかし「薬はあまり飲みたくない」とか「検査で異常ないと言われた」等とそれ以外を訴えて来院する患者さんも多くいます。この場合に私は脈診無しでは、どうやって治療してよいか迷ってしまいます。

脈診が無くても、患者さんが腰が痛いと言えれば、腰に鍼をする事は出来ます。しかし「なんか体が疲れて元気が出ない」「なんか睡眠がしつかり取れない」と訴えると、脈診なしでは、何処に治療を施せばよいのか迷ってしまいます。私は鍼灸で、全ての症状が消せるとは思っていませんが、全ての症状に対して治療が出来ると思っています。現代医学が入ってくる前は、鍼灸と漢方薬で全ての治療を行っていたのですから、鍼灸が肩凝り腰痛の『痛み止め』だけでは困ってしまうと思いませんか。



医食同源

かほちゃ

体を温める作用があるので、冷え性の人に良いとされます。また粘膜を丈夫にするため、風邪に対する抵抗力を高めたり、元気の無い時のパワー補給になります。胃や腸の潰瘍の回復促進にも適しています。また、解毒・駆虫効果があり、古くから虫下しとして、さらには薬物中毒を治療する民間薬として広く用いられたりもします。

執筆余話

5月21日、一生に一度あるかないかの天体ショー『金環日食』があります。太陽に月が重なり、太陽が欠けてしまう現象ですが、一部分だけでなく、リング状に見える金環日食です。これがどれ位珍しいかと言うと、前回は1987年の沖縄で、次回は2030年の18年後の北海道まで見られません。関東では江戸時代の1839年以後の172年ぶりの出来事なんです!!しかも朝7時半なんて!!あとは晴れる事を祈るばかりです。

